

A/Xリプレイ オクターバー 最速履きは こちら最速 新型ムーヴカスタム!

LA100S

ランドスタイル / ムーヴカスタム (LA100S)
RANDO Style
MOVE CUSTOM
同エアロテックジャパン ☎072-838-1744 <http://www.aero-tech.co.jp>

オクターバーの最速履きは、こちら最速エアロとなる新型ムーヴカスタム! 新型発表が12月13日だったのに、なんと開発期間1ヶ月弱で1月14日の東京オートサロンにはデビュー。新車購入時にイジりたい人には心強いアイテムなのだ。さて、そのランドスタイル ムーヴカスタム、新型エンジン投入ということもあり、従来よりもスポーティに魅せたという。基本テーマである純正との一体感はそのままだが、フロントリフットの張り出しやリアディフューザーなどでスポーツテイストをプラス。ハーフと言えども、履下の物足りなさを十分に補ってくれる。



フロントハーフスポイラー	3万4600円	リアバンパー用リアアンダーキット (2スノーバルド)	9240円	ランドリュー LUX ダッシュテーブル	1万5540円~2万7900円
サイドステップスポイラー	3万9000円	ラゲッジボードキット	1万3440円	乱入型サイドテーブル	1万3440円~1万6590円
リアハーフスポイラー	3万4600円	土製スピーカー取り付け加工	2100円	ホイール / レイズ A/Xリプレイ オクターバー (16x5.5+48)	2万5790円
上記3点セット	9万9750円	土製スピーカー取り付け加工	2100円	タイヤ / プリマムスター プレイズ (155/50-16)	
リアハーフスポイラー用LEDランプキット	9240円	土製スピーカー	2100円		
上記4点セット	10万5000円	土製オーディオ			
LEDランプ付きフォグランプキット (黄灯3灯)	2万6750円	17センチスピーカー付キット	2万5790円		



フロント下部に貼ったリフトを、ムーヴカスタムに見合ったスポーティな雰囲気を加えたハーフスポイラー。



リアスポイラーや共に装着するLEDランプキット、ディフューザーなどを合わせて、今更スポーティに仕上げ。



ディフューザーに貼りつけたリアアンダーキット、左右のリフレクターはLED付きの交換アイテムを装着。

オーディオとのコラボパーツ
ラゲッジにスピーカーをポン付け!



ラゲッジのアンダースペースを有効活用できるボードを装着。オプションでスピーカーの取り付け加工や、それに合わせたオーディオ製品などをラインナップ。

iPhone 繋げる
テーブルも新デザイン!



本誌のオリジナルアイテムがリニューアル。従来の携帯電話よりも幅広いiPhoneなどのスマートフォンに対応したモデルが登場したのだ。便利さをさらにアップ。



color
ブラックライン
ダイヤモンドカット

ポリッシュライン部分にマットブラック塗装を施した大人っぽい仕上がり。張り裂けるような存在感を放つカラーリングだ。



フロントのキャクラーデザインをアレンジしたセンターオーナメント。立体的で手の込んだ作り。



まるで別体プレートのように立体的に置かれたポリッシュライン。専用デザインされた3D形状が特徴。



写真はポリッシュを削り上げたブルーのクリア塗装を施した本物のカラーリング。鮮やかな色が星の光のまわりを奪う。

サイズ	16x5.5+48
ホイール径(C/D)	4700
カラー	ブラックラインダイヤモンドカット、ブラックラインダイヤモンドカット+ブルークリア
価格	3万4500円~3万2590円

Sebringも新作が出た!

ITCの最新モデル **ITC Sport nacht**
ユーロ系ブランドのセブリングからは、新作ITCジュベルト ナイトグアビエール。激熱車にUS的イジリを組み合わせるスタイル。ユーロモディファイをコンパクトカーで実現するアメ風デザイン。張り出しのようなエッジの効いたスポークが特徴だ。詳細は次号にて!



サイズ: 16x5.5+48, 17x7.0
ホイール径(C/D): 4700, 5100 (17インチのみ)
カラー: ダイヤモンドカット/サイドブラック、ブラック/サイドエッジマシニング
価格: 2万8990円~3万4790円

新作 ホイールが豊作!

デザイン多彩な

Kカー向け
16インチ!

A/X Replay Octaver

同レイズ ☎06-6787-0019 <http://www.rayswheels.co.jp>

16インチの幅リム5.5Jというワンサイズ限定のリリースは、Kカーヘタゲットを控えた直球勝負の1本。ディスク最上層であるスポーク天面を切削することで際立つデザインは、8交点からなるメッシュ風といえるが、抑揚を付けて伸びたスポークや先端が円周状に一体化する様など、醸し出される妖艶な雰囲気はなんとも形容しがたい。色は、いわゆる切削×塗装の組み合わせとなるが、単純にそれだけでは終わらないのがオクターバー。切削面に対し、マット調やブルークリアの塗装をさらに施すというひと手間をかけ、差別化を図っているのだ。

ポリッシュラインを強調する
切削面に別色塗装の
新提案

color
ブラックラインダイヤモンドカット
+ブルークリア